

第 23号
(3月号)
2015年
3月1日

七里ヶ丘子ども若者支援研究所
それが社会参加だ！

住所：鎌倉市七里ヶ浜 2-31-12
携帯：090-7212-4055
Email：qq5656r9@happytown.ocn.ne.jp
編集長：新舛秀浩
発行責任者：滝田衛

『1年を振り返って』 永野亜由美さん（団長代行）

最初に言いたいことがあります。それは「一年って本当にあっという間だった。」学生時代は時計をちらちら見つつ、早く授業終わらないかな、早く帰りたいなんて、一日を長く思っていました。しかし、なぜか20歳を超えてから一秒一秒が恋しくてたまらないのです。1日が30時間あればよいのに…なんて思うことも多々あります。



私が子ども若者応援団に入った理由は、恩師滝田先生から声がかかったため、入団させて頂いたのですが、私のようなへっぽこが副団長（今は団長ですが）やっていていいのか、正直不安でした。不安な気持ちのまま、1年があっという間に去ってしまい、というか流れにのったようです。チラシやHPを作ったり更新したり、色々と裏方のお手伝いをしましたが、そのなかで沢山のひとと交流し、ほんわかした気持ちになるのは私だけでしょうか。

月に一回の定例会のなかで、近況報告を毎回、はじめに行うのですが、それを話したり、聞いたりする、さりげないコミュニケーションが何かと心地よかったりするのです。そのコミュニケーションのやり取りから驚くこともあれば学ぶことも多々あります。この一年間で人との出会いと別れを経験しましたが、改めてコミュニケーションの大切さを深く学びました。

☆永野さんは、ヨコスカ国際交流クラブの代表、プロボノワーカー等様々な活動をしています。
情報は右記 <http://ayumi-nagano.jimdo.com/> 著者のHPです。是非ご覧ください。（新舛）

コラム風 『親は傲慢、私は弱いと嘆く』男子、『自分の身体感覚(潔癖)に悩まされる』若者、『わけの分からない不安におびえる』女子、『進路の挫折感にたたずみ続ける』若者。2月にであった不登校ひきこもりの子ども若者との会話を思い出してみた。子ども若者は孤立している、家族や友人そして学校社会から孤独を感じるその先で。孤立すれば自分自身への信頼はうすくなり、家族や周囲への穏やかな関係は遠のく。思春期という大人への“トンネル”は困難を加速させ、自分と他人の距離感に混乱が渦巻く。私ごとで恐縮ですが去る2月9日91歳の母を見送った。きわめて平凡な人生だったが沖縄表現で「命どう宝」を全うした。改めて死は孤立ではなく世代のバトンタッチを実感、命のリレーこそが人の尊厳と思った。極論すれば“孤独”“孤立”は人固有の反省的な感性であり、そこを突き抜けて“共感”“共生”へ進む実感を得ている。3月新たな自分を感じる時を共有したい。（滝田衛）

2月22日こども若者応援団会議 「今後の応援団の活動について」

まだまだ寒い日が続く22日定例会が行われました。12名の方の参加感謝致します。近況報告に始まり8月30日に行う予定の大交流会のイベントをどうするのか、交流後にそれぞれの団体や利用したい人がつながれるような形という意見がでました。また今月行われる3月の研修会については教育の歴史を振り返り、当日の流れを話し合いました。最後に今後の「こども若者応援団」を「七里ヶ丘こども若者支援研究所」とは別に会員制の独立した団体にするという改定案が出されました。引き続き、これらは次回3月15日の研修会の後の応援団会議で話し合い、ご報告いたします。



★3月15日研修会「教育とはなにかを考える part2 子ども生徒自身の語りを通して」を横須賀市産業交流プラザで行います。無料です、是非ご参加下さい。詳細別紙参照。

それぞれの風◇川崎市中1生死去に哀悼の意を表します。子ども若者育成支援推進法施行5年、**無念。学校を包括した子ども若者を育てる地域を願って!**◇

- 1 2月から応援団会議参加しているIさんは青果スーパーで働いている。アンガージュマンに親が相談に来てIさんに会った。10年分ぐらいの人生課題を背負ったIさんと一緒に歩ませてもらったのは1年余りだったが、怒りと不安(不満)が渦巻くIさんの心身は鋭敏だった。Iさんを取り巻く関係機関と連携したが、結局できたことはIさん自身の表出だけだったようだ。その後1年半を経ての出会いは、Iさんの優しさと人懐っこい会話となった。「怒られながら仕事してます」との笑顔が爽やかで、応援団の若者たちとの交流が深まってきました。感謝です。
- 元応援団長の小幡沙央里さん、元気に4月へ向けて横須賀市内を東奔西走しています。事務所開きに参加して彼女の力強い決意を目に耳にしました。何より池上地域の期待を担っていることも実感しました。自治会はじめ地域の自助団体の方が押し寄せていました。一方会員の安川有里県議もあふれる笑顔で大奮闘。(滝田)

編集後記 私の別刷りのエッセイに感想を頂きました。この場を借りて御礼申し上げます。(新舛)

【ご参加下さい】

「研修会」横須賀市産業交流プラザ
13時30分～15時
「応援団会議」15時～17時

3月研究所開設日程(駐車場有)相談時間10時～16時土日訪問はご相談

2日(月)	相談予約済み	16日(月)	他事業
5日(木)	相談	19日(木)	休業
9日(月)	相談	23日(月)	休業
12日(木)	相談予約済み	26日(木)	相談
15日(日)	研修会 & 応援団会議	30日(月)	相談